

族度を開城と勇鎧丸
づもカ、催で企姿兜主
れシメ凜期鑑画を殿
のヤラ々間をし味身
姿ッにし中着たわに建
や夕収いにて事つま物
順しめわがよへも武利
番を押う子つう史ら用
待すとの一跡お將し、
つ家何姿おの根うの本

人搬子むいる一
う青るに主の毎
家森の鑑婦んか年
族市か兜をのでど
連ら楽を方すしん
れ。車みせ、とに苗
。で三近し木を
来一写歳くてを
た家真の来を費
と四を息住てえ



野点・小向社中

行前た午数頃会す
列につと恒や高馬
はてはの苗例各川
作大行午苗例各川
つ勢わ後木と種置
たのれの出置さ下
。市、二無つがた見
民開回料たがれ見
が始に配2賑た見
長時わ布0お野下
い間 が0う点

の放物にて地城の
来と館広まのま
場者つ根りの方
で約城、々々の開
賑わ1丸このも
った0も日年と
。0料市日もと
人開博と

史跡根城 さくらまつり

身延のしだれ桜を眺
め春を満喫



せのが全け名地広だ
んべきで成と歴に桜場
か。チ誇も長しをを春
に足少統若徳放一む
のをなけ木ぶち齊1
運時いてはしま芽5
ん期しい将だす芽5
で。だま来れ。吹本
みぬれすへ桜こき
ま場桜。向の、し



毎年、数種類の苗木が並ぶ。

し延に成一
た町南六身広
のか部年延場
がら氏の桜に
始分ゆ広一咲
まけか場とく
りてりオもし
でもの。云だ
す山ブわれば
い梨果のは
植樹身年平

来に子すあ 賑子
場大、。り等 賑子
を勢兄来の身 賑子
待市で、料の続いで主
ち民と端で大人 賑子
して皆の験用いて内
まさ出節でもまはし
すんづ句き揃。のくにつ
ごり父 まで。中



真っ赤な義経鑑でお兄ちゃんと一緒に。

「根城南部杯」をかけて

根城南部杯 グラウンド・ゴルフ大会

指打コあ勝た戦者はがいや広を芝ま念さ会グ
し一っ敗。をはい転がか場流生しなれ一ラ第
て打スで今績慣いがけなはしのがまがウ四
い真を女決年りれなるな勾平て上がらし九回
ま剣読性めか広たがたい配坦くで、雨た月ド一
しにみ軍るらげぶらめ所がなれ爽広に。中・根
たボなはこ男てレも難にあよま々々見後旬ゴ城
。！が真と女いし、しボりうしかと舞半にル南
ルら剣と別まで参い、でたなしわは開フ部
目一ににし熱加とル思緩。汗たれれ残鑑大杯

旧南部藩6ゆ名かり参地



ブ根会ン沢果よれ
が城のビ市、各組
手南笹ヨ、時ブレ後三
渡部垣が苗レの
さ杯正にグ愛一の
れの弘輝ラ子オ一
ま優会きンさん位ス
し勝長、どんの同
た力よ当チへ結土分
。ッり協ヤ三にか

すは小ちが挑た定
。まさ殺戦合さま
だな出到。掌れた
祈るし予士八、
だりほき想偶戸今
続のじヤし上の市年
士で上製を国
う人、セに作賑宝
う人、セに作賑宝
う人、セに作賑宝
う人、セに作賑宝



「えんぶりミニ烏帽子づくり」

も元ぶ度施画らり
らのりはしをおの
お伝烏南て取う楽
う統帽部おりとし
と文子菱り入毎さ
企化作刺まれ年を
画にりにしすな新
。触なや、知
れどえ今らいて
て地ん年実企も

根城 おもしろ講座



ミニ合掌土偶

身れあ貝すな講野り度た九のの一
近るりに。が師で、か。月体中根城
に時よ、そらの活八戸市開講学組お
にあ代物るの実方踊市市開講学組お
る、が手中施のしし開講学組お
材子豊ににしごて在住のし全全全
料供富りはて協おのされし全全全
でたに講広お方ら各各各各各各各
手ちあ座場りをれ各各各各各各各
作にふも職ま得る分お年しがい

八戸の伝統に触れ、手作りの楽しさ実感

薬草は私たちの身近な友達

庄痛胃クソ
、痛ノウ正
切肩、カ。式
りこ腹マ別名
傷り痛ノ名は
、フはキラ
高神タジラ
血経。ゴン

で名い罹よゴ草話
あ前うるくロがだ母
るが必効シ有そが
。付と要いだ名う子
いかかてとなで供
たらな医いイ、の
そこい者うシこ
うのとに。ヤのの

た妹し洗らわい咲面ムとを
！の、つ、れていにラ！罹昔
。皮何て母てきてにハサ。っ、
膚か天は探いてバギ「た、
にに日っなるりグ畑時皮
湿浸でそ、かつさのの
布け乾れ来とらいが隅の膚
して燥をた云抜て地にこ炎



づのたるこまをり葉をえはご鎮
世のたどで追れ、草とを病実糧。な
いたもだが大い草とを病実糧。な
頃終るの命切払を取、代怪のの時薬
にわう知をに取、代怪のの時薬
に戦だなて収、を伝にるに人は
近国つげる獲虫守えは木備々す

民は化本
俗、かをの忘
。魅。視伝れ
宝力根い統つ
庫あ城てとつ
すれふのみ植
るせ広ま物
る場せ文日

すをと秋れて類あれ数す八
。付にへてたとりて種ぐ戸広
けひかあ名効まい類右城場
とけり板用するほ側門の
いつて、がが。薬どにを入
き、季春添記花草植1入口
ま花節かえさの園え0る、
芽ごらられ種がら0と旧
す生良のい園ちる
ねきく人つをはと
いて共々た造敷各
。い存はたとり地
つし自い始内の
たな然うめに城
のがと。て薬主
でら仲昔草た

今年度の体験学習講座メニュー

- 1 桜染め体験～広場のしだれ桜で染めよう(広場職員)
- 2 南部の伝統～菱刺し体験(西野刺つ娘の会)
- 3 木工細工～野鳥の巣箱作り(広場職員)
- 4 八幡馬の歴史と絵付け体験(高橋利典)
- 5 銅をピカピカにみがく～鏡を作ろう(八戸高専 大沢啓志)
- 6 えんぶりミニ烏帽子づくり(えんぶり製作師 小坂勝義)
- 7 ミニ合掌土偶を作ろう(縄文堂 淵沢秀岳)

悠久の地で舞う勇壮な褶りを撮影してみませんか

史跡根城 えんぶり撮影会

平成22年2月17日(水)・18日(木) 両日開催予定

と高摺う背元し影城あて同中り一
詰のる大景しま会える初夜、八昨
めス舞地にたしーんーの場当開戸年
掛ボいの雪たたをぶ史試に協催えの
けッは上が殿。開り跡みお会期年二
たト最で舞を復催撮根ではは間ぶ



日たタカがちとになんの供の絶愛2
開。いメすは、マ衣こ舞た摺贊好0
催第をらいヤ好ちもな一にと力の人
二切のとン家しもどえよは強皆を
目つシ夢のてた華んる別いさ超
もてヤ中を方い背やこ一に太んえ
同いッで逃たる景かえ松子夫はる

「悠久の地―史跡根城でえんぶり撮影会」